

科目名 精神看護援助論Ⅱ	配当時期 2年次後期	講義担当者	
時間割表記名 精神看護援助論Ⅱ	単位数 1単位	楡井俊史 小田泰介	
	時間数 30時間(16回)	松寄弘毅	
事前学習内容 精神看護援助論Ⅰで学んだ知識を想起し、検査、治療、疾患について想起し活用できるよう準備する。			
授業目標 1. 精神障害者の症状や、検査・治療における看護について理解できる。 2. 精神障害をもちながら地域で暮らす人を支える看護について理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	1. 家族への援助 1) 家族のストレスと健康状態のアセスメント (1) 家族のストレスと感情表出 2) 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント 3) 家族システムのアセスメント 4) 家族への教育的介入と支援 (1) 家族心理教育 (2) 家族療法 5) 患者—家族関係 (1) 治療的關係と家族	講義	テキスト①②
2	2. 精神障害に特徴的な症状の看護 1) 精神症状の看護 2) 神経症状の看護	講義	テキスト①②
3			
4	3. 精神障害の診察・検査に伴う看護 1) 視診 (1) 外見 (2) 心の内面の観察	講義	テキスト①②
5	4. 検査に伴う看護		

6	5. 精神障害の治療に伴う看護 1) 薬物療法に伴う看護 2) 電機痙攣療法に伴う看護 3) 精神療法の看護 (1) 個人療法 (2) 集団療法	講義	テキスト①②
7	(3) 家族療法 4) 環境療法・社会療法の看護 (1) 作業療法 (2) 精神科リハビリテーション (3) 認知行動療法		
8	6. 代表的な疾患の看護	講義 グループ学習	テキスト①② 13回目は45分
9	ストレンクス、リカバリーに着目した看護		
10	1) 統合失調症患者の看護		
11	2) うつ病患者の看護		
12	3) 摂食障害患者の看護		
13	4) 強迫性障害患者の看護 5) パーソナリティー障害患者の看護 6) 解離性障害患者の看護		
14	7. 社会復帰・社会参加への支援 1) 精神障害をもちながら地域で暮らす人を支える看護 (1) 長期入院患者の地域移行への支援 (2) ケアマネジメント (3) コミュニティー	講義 グループ学習	テキスト①②
15	2) 地域で生活するための原則 3) 生活を支えるための社会資源・サービス (精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整) (1) 相談支援 (2) 医療にかかわるサービス ① 精神科訪問看護 ② 精神科デイケア ③ 精神科ナイトケア 4) 生活を支えるサービス 8. 精神科におけるリハビリテーション 9. 長期入院と地域医療 10. 社会復帰促進と各種プラン 11. デイケア活動 12. 自助グループの活動		

	13. 地域リハビリテーションの過程における看護師の役割 14. 精神科リハビリテーションと今後の課題		
16	筆記試験(45分)		
受講上の注意 ○事前・事後学習はしっかりと行う。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト 1) 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 2) 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院 3) 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社 参考文献 1) 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 医学書院			